



2023年 高麗博物館企画展

関東大震災100年-隠蔽された朝鮮人虐殺 を見て

9月6日、新大久保駅に集合して7人で高麗博物館に行きました。高麗博物館は日本人市民と在日コリアンが心をつなぎ1990年に「高麗博物館をつくる会」を結成し、2001年12月に開館しました。ビルの7階です。常設展示の他、イベント・フィールドワーク・会員、ボランティアが集まったの研究会や勉強会も行っています。その一つに関東大震災研究会もあります。今までも3回関東大震災朝鮮人虐殺をテーマとした企画展を行い、今回は新たに発見された淇谷「関東大震災絵巻」が初公開されています。

この絵巻はニュースにもなりご存知の方は多いと思いますが、新井勝紘さんが2021年のネットオークションで入手されました。作者は福島県泉崎村出身の教員画家で大原彌市という方です。2本あり30メートルにも及ぶ大作です。その中に描かれた場面の実物が展示されています。軍隊と警察、自警団などが一体となって何人もの朝鮮人を虐殺している様子が詳細に描かれています。

絵巻の他、日本の植民地支配や秀吉の朝鮮出兵、「流言蜚語(デマ)と厳戒令」関連資料や子どもの作文、中国人遺族の闘い、中学校歴史教科書の記述の推移、毎年9月1日に都立横綱町公園での追悼行事に、2017年から小池都知事が追悼文を取りやめたことについての知事への質問と回答などがパネル展示されています。証言者のビデオも上映されていました。

今、関東大震災での朝鮮人虐殺めぐり、松野博一官房長官が「記録が見当たらない」と発言を繰り返しています。震災発生直後から朝鮮人の暴動などのデマが流布され、軍や警察、自警団による集団虐殺があったことを示す公的な記録は数多く存在しています。「あった」ことを「なかったこと」にすることはできません。絵巻の作者があえてこの場面を絵巻に入れた理由を「この震災を経験しなかった人に、省慮の念を促したい」と記していました。

今、SNSなどを通じてデマ情報もあつという間に拡散されていきます。きちんと過去を反省し向き合い、民族差別などのあらゆる差別を解消していく努力が本当に必要だと感じました。

尚、この企画展は12月24日(日)までです。まだ行かれてない方はぜひ見に行ってください。

(開館時間: 12時から17時。休館日: 月・木曜日。Tel: 03-5272-3510) (代田4丁目・萱野 幸子)

私の世代は歴史を学んでいなかった感があります。

この愚かなできごとの継続で生かされていると思うといたたまれない気持ちになり、けして忘れてはいけない、もっともっと知らせていかななくてはと思います。

沖縄の地上戦もその一つです。

しれば知るほど忘れてはならない事柄だと胸が痛みます。

伝え続けていくことは大切ですね。(南鳥山在住・斉藤 美恵子)

マイナンバーカードをめぐる・・・雑感

マイナカードの取得は、そもそも任意であり、義務ではないと政府は言っていたのに、来年、現行の健康保険証を廃止してマイナカードに紐づけすると発表。これでは義務化ではないでしょうか。そしてマイナカード取得に2万円のポイントまで付けて強引におし進めています。事務手続きをする各自治体は煩雑な手作業で混乱を極めていて、トラブル続出。こんな危険な状況に「マイナカード自主返納運動」が起きています。

ごく個人的な集まりで私は「マイナカードは持たない、国家に管理統制されるのはいやだから」と言う、「日本に住んでいる以上、国のルールに従わないと。従わないのなら、どこの国でもこうした制度はあるので、国ではないどこかに行かなければ・・・」という主旨のことを言われました。そういう考え方が一般的なのかなと思いつつも「できる限り抵抗する」と私は答えたのです。国家の政策だからといって、納得できないことには反対、抗議、抵抗する権利はすべての人にあります。今、閉塞感に苛まれ同調圧力が強まるのをひたひたと感じています。

国民の意見に耳を傾けない政府に黙っていると、気がついたら考え方も含めた個人情報すべて剥ぎ取られ、がんにがらめになり、「新しい戦前」が現実になってしまうと危惧しています。(代田5丁目・日暮恵子)



14歳に届いた陸上自衛隊からの案内

6月下旬に陸上自衛隊東京地方協力本部世田谷募集案内所から高等工科学校の受験とオープンスクール案内が中学3年生の息子宛に届き、初めてその学校の存在を知った。中学卒業以上17歳未満の男子が対象。学費・寮費は無料で「特別職国家公務員」のため「生徒手当」が毎月約10万円支給されながら「テクノロジーの基礎」を習得しつつ通信制高校との提携で高卒の資格もとれる。戦闘&戦技訓練があり、チラシの迷彩服を着て銃を持ちながら身をかがめている訓練の写真は、もうそれだけで強い嫌悪感がわいてくる。ちなみに息子には案内を知らせたが、見ようともせずまったく興味ない様子だった。

昨年12月に閣議決定された防衛力整備計画では、「自衛隊の人的基盤の強化の一環」として28年度から工科学校を陸海空自衛隊の共同の学校にして、男女共学化するという。「ジェンダー平等」などと素直に喜べるはずもない。

自衛隊が自治体に18・22歳の若者の名簿提供をさせていることがかねてより問題になってきた。2019年2月の自民党大会で「6割以上が協力を拒否している」と安倍首相（当時）が自治体をディスったのをきっかけに、22年度は6割をこえる地方自治体が住民基本台帳をもとに電子・紙媒体で若者の名簿の提供をしていることが、防衛省報道室の調査で判明しているという。自衛隊法施行令120条には「要請できる」とあるだけで、自治体が名簿提供に応じる義務はない。

わが世田谷区はどうなのか、中里光夫区議（日本共産党）に確認してもらった。自衛隊の要請を受け、「対象年齢にあたる住民を抽出した名簿を紙で提供し書き写させている」との回答である。理由は「個人情報保護の観点から必要以上に他の情報を見せないようにするため」。もっともらしい言い訳である。今年の要請は14・18歳、22年は14歳、21年は18歳。この問題について、みなさんとともに考え、区に申し入れをできればと思う。
(代田4丁目・秋山千尋)

集会等の紹介

10月1日(日) 10:30～

戦争させない！ 憲法こわすな！ 世田谷区民集会 & パレード

戦争につながる大軍拡と増税反対

台湾有事を起こさせない外交を — 東南アジア諸国とともに —

場所：若林公園（松陰神社となり） 三軒茶屋までパレード

共催：戦争させない！ 憲法こわすな！ 世田谷連絡会

10月5日(木) 19:00～21:00 **九条の会大集会** 参加費：999円

大軍拡反対！ 憲法改悪を止めよう

スピーチ① 田中優子さん（前法政大学総長・九条の会世話人）

「岸田首相の軍拡・改憲に反対する声を！」

② 中野晃一さん（上智大学教授・市民連合運営委員）

「改憲・軍拡ではなく、『安心供与』を」

場所：「なかのZERO」大ホール（JR中野駅南口下車徒歩約10分）

共催：九条の会 10・5大集会実行委員会

11月18日(土) 13:30～ **世田谷九条の会18周年のつどい**

講演 小林節さん（慶応義塾大学名誉教授）

「岸田内閣の安保政策と憲法9条の価値」

場所：梅ヶ丘パークホール（小田急線梅ヶ丘駅下車）

共催：世田谷九条の会



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++